



とねっと協議会だより VOL.6

【参加施設数】 118（中核施設11、病院・診療所102、検査施設5） 【参加住民数】 20,506人（6月30日現在）

発行日／ 平成26年7月16日 発行／ 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局
電話番号／ 0480 (63) 0003 FAX／ 0480 (63) 0033 URL／ <https://sites.google.com/site/tonetsince2012/>

平成26年6月17日(火)に第3期通常総会を開催しました。総会では5項目の報告がされ、また、4つの議題について協議が行われました。

●平成25年度事業報告と収支決算を議決

平成25年度における財務活動状況や普及・啓発の取組などをまとめた事業報告と、協議会の運営に関する収入支出をまとめた収支決算が議決されました。

【収支の状況】

事業活動収入 43,250,061円 事業活動支出 42,591,185円
当期収支差額 658,876円

●協議会収支予算の補正を決定

県救急医療情報システムと「とねっと」の接続保守に関する収入支出の追加と、平成25年度決算に伴う前期繰越収支差額の追加などを内容とする補正予算案が承認されました。

【補正予算の概要】

- ①救急システムー「とねっと」接続保守関係
事業収入2,073,600円、事業費1,382,400円の追加
- ②前期繰越収支差額の追加 1,257,816円
- ③予備費の追加 691,200円

●サービス利用・保守契約の締結を承認

現契約の履行期間終了後も引き続きサービス提供を受けるための県救急医療情報システムー「とねっと」接続サービス利用・保守契約案が承認されました。

【契約内容】

契約金額： 1,382,400円
履行期間： 平成26年8月1日～平成27年3月31日まで

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

●「とねっと」を全国にPRしました。

5月26日、奈良県で田城孝雄氏（放送大学教授）や向井治紀氏（内閣審議官）などが参加した国際公共政策研究センター主催シンポジウムが開催され、協議会からも大橋会長（加須市長）と井坂茂夫先生（協議会ITネットワーク担当部会長、久喜総合病院名誉院長）が参加して「とねっと」を紹介し、「とねっと」への財政支援を直接、国に要望しました。

●とねっとカードの「紐付け」をお願いします。

患者情報の登録・参照には、各医療機関で患者様のカードIDを「とねっと」に登録していただく必要があります。協議会事務局による「紐付け」作業の代行も可能です。ぜひ、ご利用ください。

●協議会事務局費負担金（平成26年度分）の納入をお願いします。

事務局職員が各医療機関にお伺いして集金させていただきます。ご協力をお願いいたします。

【負担金額】

・中核施設	年額 50,000円
・病院	年額 20,000円
・診療所	年額 10,000円

●診療時間外にも予約できる便利な検査予約機能（C@RNA）をご利用ください。

【予約可能施設】

- ・済生会栗橋病院様（MRI、CT）
- ・厚生連久喜総合病院様（CT）
- ・加須市医療診断センター様（MRI、CT、MMG）

●地域連携パス機能をご利用ください。

脳卒中などの患者様の逆紹介や糖尿病治療のための連携にご活用ください。

◆◆◆ 利用者の声 ◆◆◆

協議会副会長 根本 和雄 先生
（行田市医師会長）



「とねっと」の本格稼働から2年が経過しました。会員数も増加しており大変喜ばしいことです。大橋会長、遠藤先生、井坂先生を始め関係者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

行田市は、利根医療圏に属していますが、救急医療は深谷熊谷地区に属しています。このため、発足当初から利根医療圏での医療情報ネットへの参加には疑問を持つ先生方もいらっしゃいました。私自身も同様に感じていましたが、医療情報ネットは市民のためになると考え、「とねっと」に参加しています。

行田市では、壮行会行田総合病院が基幹病院として「とねっと」に参加しています。今後、同院を中心に行田市の医療情報ネットが構築されればと考えています。同院では、外来診療の予約システムも構築中とのことです。期待しています。

また、県立循環器・呼吸器病センターと県立がんセンターも加わり、更なる発展が期待されます。

一方、今年度から市町と参加医療機関で毎年の事務費用を分担することになりました。「とねっと」の更なる発展には資金の確保が不可欠です。実績を重ね、国や県からの資金援助も求めていきたいと思っております。